

告示	番号	41	内分泌疾患
	疾病名	ガストリノーマ	

ガストリノーマ

がすとりのーま

概念・定義

膵、十二指腸に発生するガストリン産生腫瘍からのガストリン分泌過剰による疾患。

症状

胃酸過剰分泌による消化性潰瘍や逆流性食道炎(出血、腹痛、胸やけ)と、膵酵素不活性化による下痢がある。潰瘍の特徴として、治りにくい、容易に再発する、多発性潰瘍、十二指腸下行脚以降の潰瘍、穿孔などがある

治療

ガストリノーマは、切除術によってのみ、根治できる。ガストリノーマと診断された場合、切除術が推奨される。十二指腸ガストリノーマに対しては、リンパ節郭清を伴う十二指腸切除術が推奨される。膵ガスト

リノーマに対しては、リンパ節郭清を伴う膵切除術が推奨される。内科的治療としては、ソマトスタチンアナログが推奨されるほか、エバロリムスが保険承認された。ガストリノーマによる消化性潰瘍の治療、下痢などの内分泌症状に対しては高用量のPPI が推奨される

抜粋元：http://www.shouman.jp/details/5_32_74.html